

古川(シククラ) 2打差4位

勢井(月の宮)と篠原(レオマ) 9位

ゴルフ

四国アマチュア選手権

ゴルフの第40回四国アマチュア選手権は25日、グランディ鳴門ゴルフクラブ(東コース7013F、パー72)で4県から108人が出場して開幕した。徳島県勢は生光学園高3年の古川悠一朗(シククラ)が2アンダーの70で回り、首位と2打差の4位で滑り出した。生光学園高3年の勢井乃樹(月の宮)と愛媛・川の江北中2年の篠原和樹(レオマ)がイー

ブンパリーの72で9位につけた。古川は前半アウトを3バーディー、ノーボギーとしたが、インは1バーディー、2ボギーとスコアを一つ落とした。2日間の予選ラウンドの100位までが決勝ラウンドに進み、予選、決勝を合わせた3日間の54ホールストロークプレーで優勝を争う。上位5人に日本アマチュア選手権(6月20日〜7月2日・茨城県大利根CC)の出場権が与えられる。<15位以下の徳島県関係>
 ▼第1日(米村剛志)クラシ

第1日の成績(9位まで)

①谷本伊知郎(高松グ)	-4	68	(32、36)
①松井琳空海(新居浜)		68	(34、34)
①福住 将(スカイ)		68	(35、33)
④古川悠一朗(シククラ)	-2	70	(33、37)
④福住 修(スカイ)		70	(36、34)
⑥田所 裕槻(スカイ)	-1	71	(35、36)
⑥田村 軍馬(久万)		71	(35、36)
⑥竹内 瑛信(北条)		71	(32、39)
⑨大西 秀昭(琴平)	±0	72	(38、34)
⑨篠原 和樹(レオマ)		72	(37、35)
⑨行正 怜恩(屋島)		72	(35、37)
⑨勢井 乃樹(月の宮)		72	(35、37)
⑨鳥井 隆貴(松山国)		72	(37、35)
⑨香川 凜央(西条)		72	(35、37)

高松グは高松グランド、スカイはスカイベイ、シククラはシククラ、松山国は松山国際

イ73(36、37) 尾崎竜二(阿南) 74(38、36) 福島慎也(シククラ) 74(37、37) 安斎正高(吉野川) 75(37、38) 小野寺樹(眉山) 76(39、37) 濱瀬裕生(鳴門) 76(38、38) 吉井颯介(阿南) 77(37、40) 明石光由(タカガワ西) 79(41、38) 水主達也(月の宮) 80(41、39) 山本真之(タカガワ西) 82(45、37) 清水匠(四国) 83(43、40) 岡本浩希(御所) 85(42、43) 新居一郎(タカガワ西) 86(44、42) 山田直人(御所) 86(47、39) 田村泰章(阿南) 87(44、43) 武田紘

パット好調 前半手応え 古川

県アマ王者の古川が、2アンダーの4位と順調なスタートを切った。シン横からの5球を沈めて連続バーディー。リズムをつかむと、6番ショットでは第1打をピンそばにびたり。楽々と三つ目のバーディーを奪った。順調にスコアを伸ばして臨んだ後半に落とし穴が待っていた。12番ショットで1球弱のパットがピンにはじかれ、この日初のボギーとなると、13番ロングでは1球のバーディーパットを外して11。しかし、15番ですぐさまバーディーを取って悪い流れを断ち切り、残り3ホールを1ボギーに抑えた。パットを重点的に練習した成果を発揮したものの、持ち味のショットが左右に曲がり、「思い切った振れなかった」と課題を残した。初の四国王者を狙う古川は「ショットを真つすく飛ばし、2日目もアンダーで回りたい」と気を引き締めた。(須見千次郎)



初日2アンダーで県勢トップの4位につけた古川(シククラ)鳴門GC



汰(月の宮)89(49、40) 尾形知宏(タカガワ西)95(50、45) 勢井乃樹(9位)発進で県勢2位(シククラ)3バーディー、ノーボギーで迎えた13番でのバンカーショットのミスが響いた。このホールに続いて4番と7番の3パットが悔やまれる



篠原和樹(首位)4打差スタート(レオマ)練習ラウンドで思うようにグリーンに乗らなかったの